



今月のNEWSな楽譜 & グッズ



☆ドレミ楽譜出版社

●ぴあの ぴあの 1 田丸信明編 1,050円(税込)

ト音記号から始まるはじめての初級ピアノテキストです。習得していく音も、現代の子ども達にわかりやすい順序に工夫され、楽しく無理なく学べるメソッドです。シリーズ続巻も順次発売予定。

●プレ・ワーク こどものための おんぶのよみかき 後藤正紀編 1,050円(税込)

ピアノを始める幼児を対象としたワーク・ブックです。字がまだ書けない生徒さんも、ピアノ学習の導入時より読譜に最低限必要なことを繰り返し読み書きすることによって、鉛筆を持つことにも慣れながら自分で考える力を自然に養っていけるように作られています。

☆ヤマハミュージックメディア

●聴くだけでスッキリ痛みがとれる！ 藤本幸弘著 1,680円(税込)

頭痛・生理痛・腰痛・自律神経失調症・肩こりなど、人々を苦しめる痛みを消す音楽を紹介。さらには、リズムにのって体を動かす方法やストレッチなどの応用編も充実。いつ、どうやって、どこで聴くのが一番良いかをわかりやすく解説。あんなに悩んでいた痛みがスッキリとれるかも!?

●気づき・つまづき アラッ！ エッサッサ 秦万里子著 1,575円(税込)

主婦の代弁者、即興ピアニスト秦万里子さんが教える生きがい、子育て、楽しく生きるために大事なこと。主婦の日常は外から見るとはるかに大変。子育てに人付き合いに時間やエネルギーを取られ、思うようにならない自分の人生。でもちょっとした心の持ち方や生き方の工夫で、いつからだって、何歳からだって、自分を磨いて夢を持って羽ばたけるはず。主婦が輝くための処方箋。

●バダジェフスカ:ピアノ作品集 萩谷由喜子校訂・解説 1,575円(税込)

ピアノを学習する子ども達の憧れの名曲として君臨し続ける「乙女の祈り」はポーランド出身の女性作曲家テクラ・バダジェフスカ (1834-1861)の作品です。本書では「乙女の祈り」はもちろんのこと、彼女の流麗で美しいサロン音楽たちを収載。

☆全音楽譜出版社

●モーツァルト:歌劇《フィガロの結婚》 青島広志:編曲 1,470円(税込)

「恋とはどんなものかしら」「そよ風に寄せて(手紙の二重唱)」など、名曲揃いの人気オペラ《フィガロの結婚》をピアノアレンジで。TV等でも活躍中のブルーアイランド氏こと青島広志氏の編曲。モーツァルトの明るく軽やかな、生き生きとした音楽をレパートリーに加えてみてはいかがでしょう?

●田中雅明:ピアノアルバム 美しの森 2,310円(税込)

全音の定番子供向けピアノ教本「わたしはピアニスト」シリーズの編者、田中雅明によるオリジナルピアノ作品集です。

☆サーベル社

●わんぱくワーク・ブック4 遠藤蓉子著 998円(税込)

本書は、「わんぱくピアノ・ブック」に対応したワーク・ブックで、ピアノを弾く上での楽譜の理解を中心に学びながら、聴音のトレーニングをゲームとして楽しく取り入れたワーク・ブックです。4巻になると音域も広がり、色々な記号の理解まで丁寧に学びます。特にト音記号加線の音やヘ音記号の低い音域などトレーニングしていきます。「ちょうおんゲーム」もレベルアップしますが、子供たちが苦痛に感じないようできるだけ楽しく挑戦できるように工夫しています。

☆春秋社

●ピアノを弾く人へ 奥千絵子著 2,520円(税込)

ピアノの先生やピアノ愛好家のためのピアノ演奏書。練習の取り組み方、譜読みの仕方、先生の教え方など基礎から正確に積み上げていくために必要な事柄を、多数の譜例とともに解説する。練習に迷ったときやもう一度基本に戻りたい時のヒントがいっぱいの1冊。長年の教師歴で培ったポイントをQ&Aでまとめた章は参考になります。



ぴあの ぴあの 1
(ドレミ楽譜出版社)



聴くだけでスッキリ
痛みがとれる！
(ヤマハミュージックメディア)



ピアノアルバム
美しの森
(全音楽譜出版社)



今月のNEWSな楽譜 & グッズ



☆ショパン

●第16回ショパン国際ピアノコンクール総集編 月刊ショパン2011年1月号別冊 価格未定

45年ぶりに女性の優勝で幕を閉じた第16回ショパン国際ピアノコンクール。ショパン生誕200周年の今回は多くの審査員が「レベルが高い」というように、素晴らしい個性的なピアニストが多く集まりました。しかし、その裏ではどのようなドラマが繰り返られていたのでしょうか。約1ヵ月に渡るコンクール全てに密着取材した月刊ショパンならではの完全保存版の1冊。付録CDには入賞者と人気のあったコンテストのライブ録音が入る予定。

ピアノレスナーのための情報誌

NEWS88

ヴェッキアート『ピアノ叙情小曲集』

せき たかひろ
関 孝弘 (ピアニスト)

ピアノ奏法の基本である“Espressivo”の真の意味を、そして音楽で最もだいじな要素である“歌う”という重要性をこのヴェッキアートの厳選された『ピアノ叙情小曲集』から誰でも感知することでしょう。

2011年1月14日(金)にNHKラジオ・イタリア語講座“Salotto Musicale イタリア音楽への招待”でヴェッキアートの特集が放送されます。
NHKラジオ第2放送、朝7:45-8:00、午後4:45-5:00(再)



全音ピアノライブラリー
ヴェッキアート
『ピアノ叙情小曲集』(解説付き)

校訂・解説:関孝弘

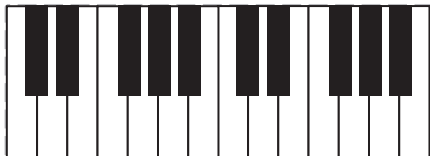
価格:1,575円(税込)

菊倍版・48頁

全音楽譜出版社刊

関 孝弘 Takahiro Seki

東京生まれ。東京芸術大学、同大学院を修了。1979年プレーシャ国立音楽院に留学。在学中から、フィナーレ・リーグレ国際音楽コンクール2位。ザンボニ国際音楽コンクール1位。ラフマニノフ国際音楽コンクール3位他、数多くのコンクールで優秀な成績を収め、各地の国際フェスティバルに招かれて称賛を浴び、イタリア・ストレーザ市より賞を受ける。86年日本デビュー、90年レニングラード・フィルハーモニー室内オーケストラ日本公演。92年ジュフリー・サイモン指揮東京都交響楽団、94年バーヴェル・コーガン指揮モスクワ国立交響楽団日本公演に出演するなど世界的に活躍し、高い評価を得ている。チャマローザ「ピアノ・ソナタ集(全88曲)」の楽譜出版と同時に、その世界初録音によるCDをリリース。ベル・カントが宿る色彩感にあふれた美しい音色と豊かな表現力でイタリア音楽を意欲的に紹介している。現在、東京芸術大学で後進の育成に務める他、フィナーレ・リーグレ国際音楽コンクールなどの審査員を務めるなど、めざましい活躍を繰り返している多才なピアニストである。



ピアノ指導の 現場から



ピアノ教師でもあった大作曲家たち

～ハイフィンガーを嫌ったバッハ先生から弦に指が達するようなタッチのドビュッシー先生～

バッハからドビュッシーまでの大作曲家がどのようなピアノ教師でどのようなレッスンをしたのかをピアノ音楽史順に連載します。是非レッスンにお役立て下さい。

最終回 C.ドビュッシー先生③(1862-1918) フランス
(3回に分けて連載)

ドビュッシー先生のワンポイント・レッスン

○ロン(前号参照)に対してのレッスン

- ・サラバンド(ピアノのために)
「メトロノームのように」
- ・水の反映(映像第1集)
「右手が速く円を描く波型のように」(36小節)
「水に小さな輪が一つ。小石が一つ水の中に落ちたように。」
- ・ラモー賛
「神へのお供え物のように」「メトロノームのように」
- ・運動
らせん形を身振りで表現しながら、妥協しない正確なリズムで回って見せました。

■「喜びの島」のレッスン

ドビュッシー先生は、すでに病が篤くなっていましたが、「喜びの島」のレッスンをしてくださいました。先生は、この曲に特別の愛着を持っていました。

ヴァトーの「シテール島への巡礼」をモデルにしている、空想とリズムの祭典といった雰囲気を持っています。

- * 出だしのカデンツァは、「呼びかけているように」。
- * 7小節目の左手は先生の指使いを守ること。
(他の小節の同じ音型も同様)
- * 28小節目からはかなりのピアノニッシモで弾く。
- * 67小節目「波打つように」は、かなり鍵盤に指を接触させて!

■悲しいレッスン

1917年、ドビュッシー先生の病気が重くなってきました。「練習曲集」と「喜びの島」をロンにつきっきりで教えました。とくに「練習曲集」は「ドビュッシーピアノ技法」の集大成です。

「テクニックを超越した手のみがこの曲を生かすことができ、完璧なテクニックをもっているピアニストの演奏によってのみ真価がわかる曲。美しいハーモニーの花の下に、厳しい技巧が潜んでいる。」

この日は、暑い日で、ロンはドビュッシー先生から鬼気迫るようなレッスンを受け、彼女は、モスリンの上着を着ていましたが、すっかり汗ばんでしまいました。ドビュッシー先生はクタクタになっているロンを見つめていいました。

「ここまで、ガンガンと厳しくレッスンをすることを許して下さい。もうおわかりかと思いますが、私はもう長くありません。私がこの世にいらなくなっても、

あなたには、正しいことを知っていて欲しいのです。」

この時同席していた詩人のトゥーレ夫妻とロンは、顔を見合わせて何も言えませんでした。

■ドビュッシー先生の最後のレッスン

ロンの演奏会前日が最後のレッスンとなりました。先生の病気は悪くなる一方で、外に出ることもまったくなくなりました。まるで、「来もしない汽車を、待合室で待っているような生活」であると、先生は述べています。

ロンが弾き終わると、ドビュッシーは黙って立ち上がりました。

夫人が「上に行かれるのですか? クロード」と言うと、ドビュッシー先生「気分が悪いんだ...」

これが、レッスン室での最後の先生の姿でした。先生は2度とベッドから起き上がることはありませんでした。

第1時世界大戦真っ只中でしたが、衰弱が激しく、防空壕に連れて行くこともできませんでした。

ついに1918年3月25日に亡くなりました。

■ドビュッシー先生の口癖

「ショパンがもっとも偉大である。1台のピアノですべてのことをして見せたのだから!!」

information

■好評発売中

「フンメル：ピアノ作品集」

岳本恭治 校訂・解説・運指

税込価格：3,360円

菊倍版136ページ

ヤマハミュージックメディア刊

ピアニストでもあり日本J. N. フンメル協会会長でもある岳本恭治先生による、校訂、運指・解説付き。

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。NHK=FM等の演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノを読む」、「江戸でピアノを」等多数。現在、日本J.N. フンメル協会会長、国立音楽院講師、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。

岳本恭治先生のブログ...<http://jnhummel.com>



岳本 恭治
(日本J.N.フンメル協会 会長)



～連載～ ピアノレッスンの今後



♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

今回は“音楽の力の素晴らしさ”についてお話したいと思います。

Tさんは50歳のお誕生日を迎え「ピアノのレッスンを始めよう!」と一大決心。我が教室の門をたたいてなんと18年がたちました。スタートした当初は仕事をされながらでしたが、自由な時間もあり、毎日一生懸命練習しました。全くの初心者でしたが、ト音記号は読めました。ヘ音記号が???でも練習の甲斐あって楽譜は何とかクリアしました。憧れだった「エリゼのために」そして「アルプスの夕映え」「乙女の祈り」は発表会で見事に演奏されました。リチャードクレイダーマンの曲は大好きで発表会でも何度か弾かれました。そんな何年かが過ぎ、自営業だったため会社が忙しかったり、大変だったり…思うようにピアノに向かえない時期もありましたが、「そんな時こそピアノのレッスンが私にはほっとできる空間なの。」そうおっしゃって、ずっとレッスンを続けてこられました。

そんなTさんが先日亡くなりました。68歳の若さで…。2年半まえ…ちょうど発表会の1週間前です。肺がんが見つかったのです。その時、すでに余命1年…。ところがTさんは前向きに病気に立ち向かいました。1年後の発表会に向け、治療を続けながらレッスンに通いました。仕事もできる範囲で続けました。そして「赤とんぼの変奏曲」を見事に演奏しました。

そして今年の春のコンサートに向け選んだ曲はショパンのノクターン20番です。ただ春にはど～しても最後のページが間に合わず「先生～私来年の発表会にこの曲必ず弾くから…」と。その時は連弾で参加されました。そして今年の暑い夏…その頃から抗がん剤の副作用でかなり辛い日々を過ごされるようになりました。普通だったらへこたれてしまうような痛さにもTさんは弱音を吐かず、常に前向きでした。もちろんレッスンも続けました。というか、ピアノを弾くことが生きる支えのようでした。その間、仲良しの音楽仲間も存在も大きな支えとなりました。そして眠れない夜は好きなショパンのCDを聞きながら、来春の発表会を想像し1人泣くこともあったそうです。自宅での練習用に作ったMDも一生懸命聞いてくれました。

8月あたりから右手の指に副作用で痛みが出てきて弾けなくなりました。それでも左手を練習する良い機会と、9月に入ってから左手のレッスン。疲れたと言って横になることも…。そして10月に入って体調が急変…帰らぬ人となりました。Tさんが「先生～夢を見たの。神様がね～『あなたはもっとピアノを練習して上手にならないと天国にはこれないよ～』って。」きっとノクターン20番の最後のページ…心残りだったことでしょう。来春のコンサートで弾いて頂きたかった…。

最後まで音楽を愛し続けたTさんのご冥福を心よりお祈り致します。今までTさん本当にありがとうございました。そして天国ではゆっくりピアノの練習してください。

講座のご案内

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための

「導入指導マスター講座・4つのシリーズ」

今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない/親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。

受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】《リズム編》12/2, 2/3《テクニック編》3/3, 5/12
《実践編》6/2, 7/7

" 【会場】東京芸術劇場第5会議室9：50～11：50

【名古屋】《実践編》12/1, 2011年1/12

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」

これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【広島】11/17, 12/8, 2011年 2/9

【姫路】11/18, 12/9, 1/13, 2/10, 4/14 (木曜日)

【池袋】12/3, 2011年2/4, 3/4

●単発「絶対できる譜読み!!」

【東京表参道】1/14(金)

講師：田村智子

●「導入期だからこそ、生徒に〈わかる〉レッスンを!!」

【千葉県本八幡】11/18(木)

♪ミュージックキーお問い合わせメールは:

☐ musickey@musickey-piano.com

♪ミュージックキーのホームページは:

☐ <http://www.musickey-piano.com/>

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)

FAX 03-3866-2222

札幌営業所

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50

TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所

〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名駅西1階 1A

TEL 052-486-2630 FAX 052-486-2636

News88のバックナンバーが、プリマ楽器ホームページから
ご覧いただけるようになりました!

閲覧・ダウンロードはこちらから
<http://www.prima-gakki.co.jp/>